

2021年卒
Vol. 5

3月1日時点の就職活動調査

キャリアス就活 2021 学生モニター調査結果 (2020年3月発行)

2021年卒者の採用広報が3月1日に解禁され、多くの学生が就職活動を本格的にスタートさせた。売り手市場ではあるものの、新型コロナウイルスの流行で説明会の中止や延期が相次ぐなど、少なからぬ混乱が生じている。就活への影響が懸念される中、キャリアス就活・学生モニターを対象に、解禁直後の就職活動状況や意識について調査を行った。

1. 3月1日時点の志望業界

○1位「情報処理・ソフトウェア」、2位「情報・インターネットサービス」、3位「水産・食品」

2. エントリー状況

○一人あたりのエントリー社数の平均は21.6社。前年調査(23.1社)を1.5社減少

○今後の予定社数の平均は9.4社。前年調査(10.6社)より1.2社少ない

3. セミナー・会社説明会への参加状況

○企業単独セミナーは平均4.0社参加。前年(3.4社)より増加

○参加したいセミナーは「社員と直に話せる場が設けられている」が最多(74.2%)

4. 企業研究を行う上で知りたい情報

○トップ3は、「実際の仕事内容」「社風」「給与水準・平均年収」

5. 選考試験の受験状況

○エントリーシート提出者は63.6%。筆記試験受験者62.6%。面接試験受験者54.3%。

いずれも前年同期を上回る

○平均社数は、エントリーシート4.3社、筆記3.0社、面接2.6社

6. 3月1日現在の内定状況

○内定率は15.9%。前年同期実績(13.9%)を2.0ポイント上回る

○内定取得者のうち、就職先を決定し活動を終了したのは14.0%(モニター全体の2.2%)

7. 就職活動を終了したい時期

○6月下旬(16.7%)が最多。但し、5月までの合計が約4割に(計39.4%)

8. 新型コロナウイルス流行の影響

○自身の就活に「影響を受ける」と回答した学生は9割超(90.5%)

○今後の日本の景気「悪化していく」が7割超(72.2%)。「急速に悪化」が大幅増

調査概要

調査対象 : 2021年3月に卒業予定の大学3年生(理系は大学院修士課程1年生含む)

回答者数 : 1,393人(文系男子447人、文系女子415人、理系男子372人、理系女子159人)

調査方法 : インターネット調査法

調査期間 : 2020年3月1日~5日

サンプリング : キャリタス就活2021学生モニター(2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」)

1. 3月1日時点の志望業界

2021 年卒者の就職活動が、3月1日より本格的にスタートした。まずは志望業界から確認したい。

就活解禁の時点で志望業界を「決めている」学生は 88.2%。2月調査では 79.2%だったので、この1カ月で9ポイント増加した。解禁に向けて業界を定める動きが加速したのどと見られる。

「決めている」と回答した学生に具体的な業界を尋ねたところ (40 業界から 5 つまで選択)、「情報処理・ソフトウェア」が最も多かった (19.0%)。ここに「情報・インターネットサービス」(17.5%) が続き、今期は序盤から IT 業界人気が続いている。とりわけ男子において順位が高い。

文理別に見ると、文系は「銀行」の順位が高く、文系男子で 1 位、女子で 2 位。文系女子の 1 位は「マスコミ」。理系はメーカーが上位に多く、男子は「電子・電機」が 1 位。理系女子は「水産・食品」が 3 割を超える。

<志望業界の決定状況>

	全体	(前年全体)	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
決めている	88.2	88.7	85.9	87.7	90.6	89.9
決めていない	11.8	11.3	14.1	12.3	9.4	10.1

<志望業界(上位 20 業界)>

全 体		文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト ③ 19.0	銀行 21.4	マスコミ 20.1	電子・電機 28.2	水産・食品 33.6
2	情報・インターネットサービス ② 17.5	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 20.8	銀行 19.2	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 27.3	医薬品・医療関連・化粧品 28.0
3	水産・食品 ④ 16.5	情報・インターネットサービス 19.0	商社 (総合) 15.4	情報・インターネットサービス 22.8	素材・化学 21.0
4	銀行 ⑧ 14.1	調査・コンサルタント 14.6	水産・食品 15.1	自動車・輸送用機器 20.2	建設・住宅・不動産 20.3
5	医薬品・医療関連・化粧品 ⑦ 13.8	商社 (総合) 14.3	官公庁・団体 14.0	素材・化学 19.3	情報・インターネットサービス 16.1
6	素材・化学 ① 13.3	建設・住宅・不動産 13.8	ホテル・旅行 13.7	精密機器・医療用機器 18.4	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 14.7
	建設・住宅・不動産 ⑤ 13.3	運輸・倉庫 13.5	建設・住宅・不動産 13.2	医薬品・医療関連・化粧品 16.3	調査・コンサルタント 8.4
8	電子・電機 ⑥ 13.1	官公庁・団体 12.8	医薬品・医療関連・化粧品 12.6	水産・食品 15.4	精密機器・医療用機器 8.4
9	マスコミ 11.7	水産・食品 12.5	保険 12.4	機械・プラントエンジニアリング 15.1	商社 (専門) 7.7
10	調査・コンサルタント ⑩ 11.6	商社 (専門) 12.0	調査・コンサルタント 11.8	建設・住宅・不動産 9.8	官公庁・団体 7.0
11	自動車・輸送用機器 10.7	マスコミ 11.7	商社 (専門) 11.8	調査・コンサルタント 9.5	通信関連 7.0
	官公庁・団体 10.7	保険 11.2	情報・インターネットサービス 11.5	通信関連 9.5	マスコミ 6.3
13	商社 (総合) 10.5	素材・化学 8.9	運輸・倉庫 11.5	エネルギー 7.7	機械・プラントエンジニアリング 6.3
14	運輸・倉庫 ⑧ 10.0	エネルギー 8.6	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 11.0	官公庁・団体 6.5	エネルギー 6.3
15	精密機器・医療用機器 9.1	電子・電機 8.3	教育 10.4	ゴム・ガラス・セメント・セラミックス 6.5	電子・電機 5.6
16	商社 (専門) 9.0	証券・投信・投資顧問 8.3	素材・化学 9.3	運輸・倉庫 6.2	自動車・輸送用機器 5.6
17	機械・プラントエンジニアリング 8.1	自動車・輸送用機器 8.1	人材紹介・人材派遣 8.2	鉄鋼・非鉄・金属製品 6.2	運輸・倉庫 5.6
	保険 8.1	医薬品・医療関連・化粧品 7.6	印刷・パッケージ 7.7	マスコミ 5.0	OA 機器・家具・スポーツ・玩具他 5.6
19	エネルギー 7.7	信用金庫・労働金庫・信用組合 7.6	エネルギー 7.4	銀行 4.7	ゴム・ガラス・セメント・セラミックス 5.6
20	ホテル・旅行 6.5	人材紹介・人材派遣 7.3	電子・電機 7.1	OA 機器・家具・スポーツ・玩具他 3.9	商社 (総合) 4.9
	教育 6.5			農業・林業・鉱業 3.9	エンターテインメント 4.9
					農業・林業・鉱業 4.9

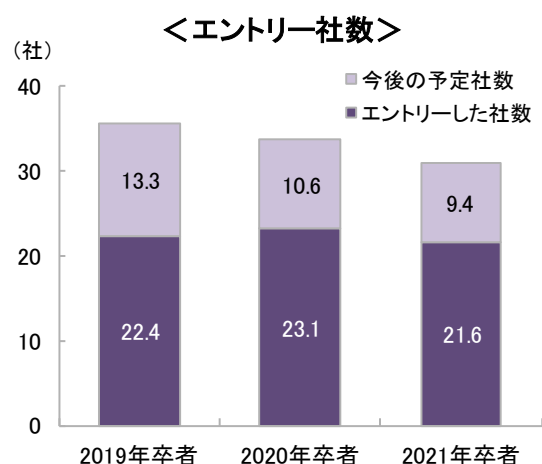
※○の中の数字は前年同調査の全体順位10位以内

2. エントリー状況

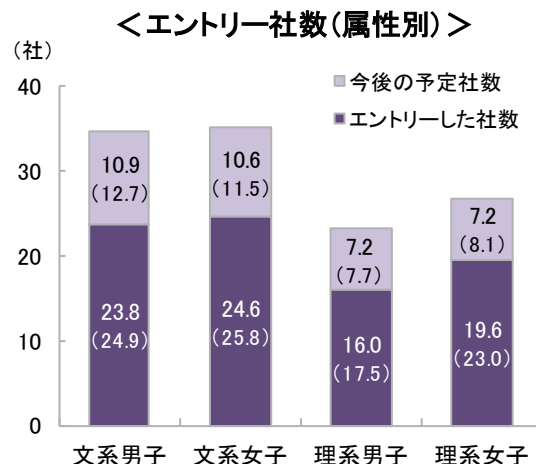
3月1日時点のエントリー状況について、エントリーした社数と今後の予定社数を尋ねた。

一人あたりのエントリー社数の平均は21.6社で、前年同期実績(23.1社)を1.5社下回った。今後のエントリー予定社数に関しても平均9.4社と、前年同期調査(10.6社)を下回っている。インターンシップ参加企業を中心にエントリーをする傾向が強まる中で、新型コロナウイルスの影響も加わり(後述)、新たな企業と出会う機会が減るのは避けられそうにない。最終的なエントリー社数にも影響が出る可能性がある。

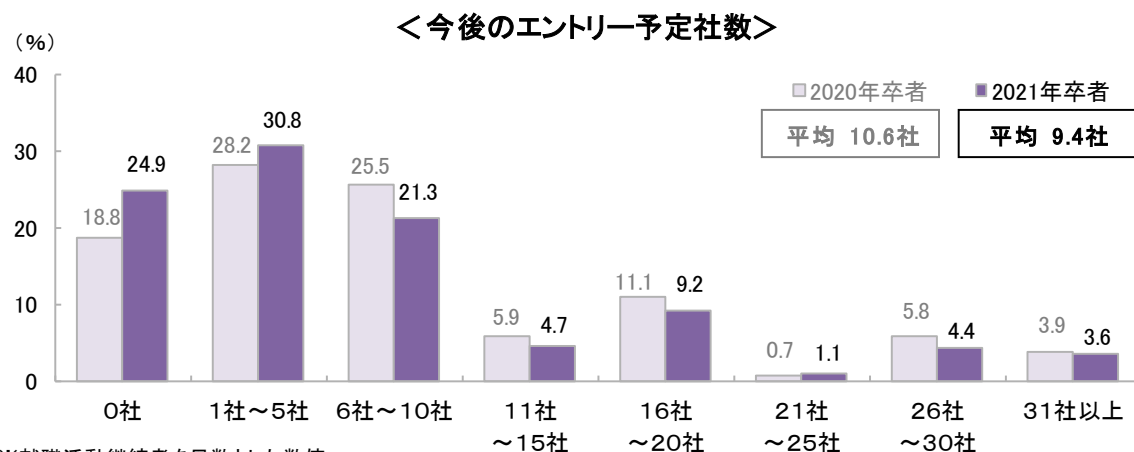
なお、今後のエントリー予定社数を「0社」と回答、つまり企業へのエントリーは済んでいるという認識の学生が24.9%に上った(就活終了者は除いて集計)。



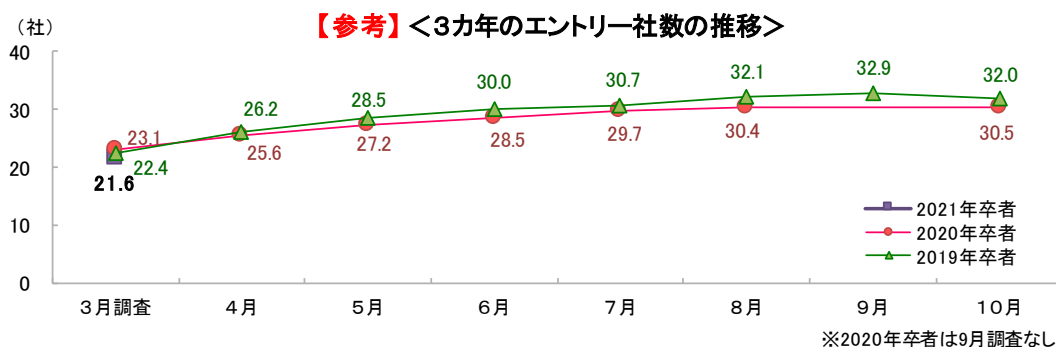
※各年3月調査



※()内は2019年3月調査の数値



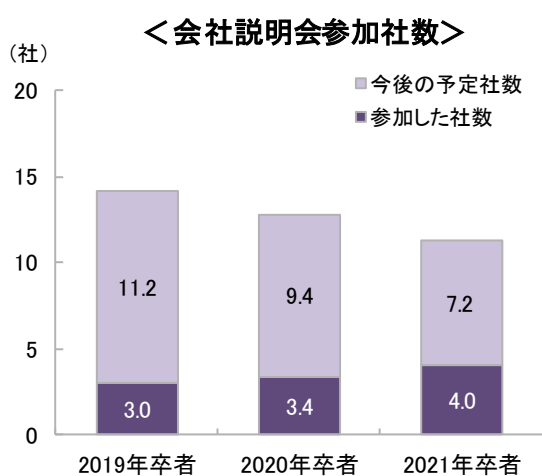
※就職活動継続者を母数とした数値



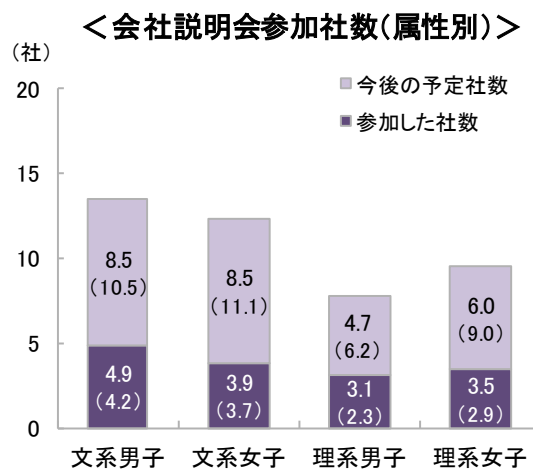
3. セミナー・会社説明会への参加状況

セミナー・会社説明会の参加状況 (WEBセミナーを除く) について尋ねたところ、会社説明会 (個別企業のセミナー) の平均参加社数は4.0社。早期化に伴い、現段階では前年同期実績 (3.4社) を上回っている。今後の参加予定は平均7.2社で、前年 (9.4社) を2.2社下回る。新型コロナウイルス流行によるイベント自粛要請を受け、WEBセミナーへの移行や、セミナー自体が中止・延期になったケースも少なくない。学生側も今後何社に参加できるのか目途が立っていないのではないだろうか。自粛要請が長引けば、極端に減ることも考えられる。

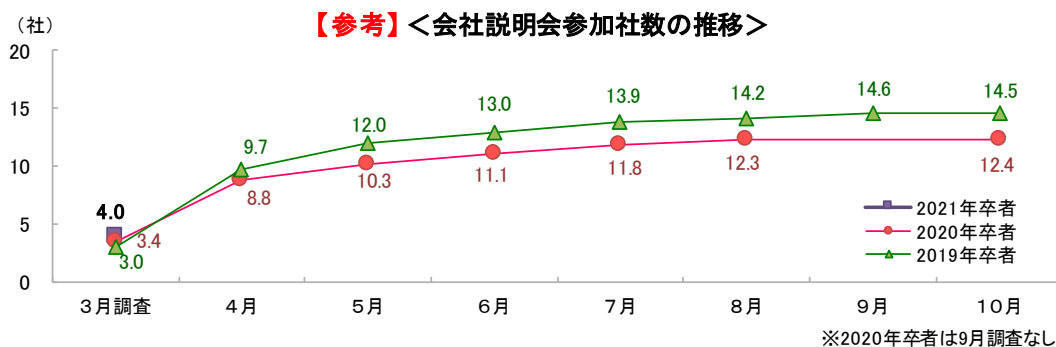
一方、WEBセミナーの視聴は大幅に伸びている。視聴経験率は約7割 (69.5%) に上り、前年同期調査 (46.6%) より20ポイント以上増えた。ライブ配信の視聴社数は平均5.5社 (前年同期調査: 4.7社)、オンデマンド配信の視聴は2.9社 (前年同期調査: 2.6社) で、いずれも前年を上回った。



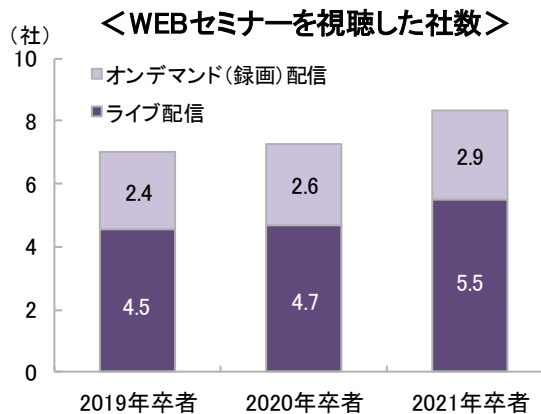
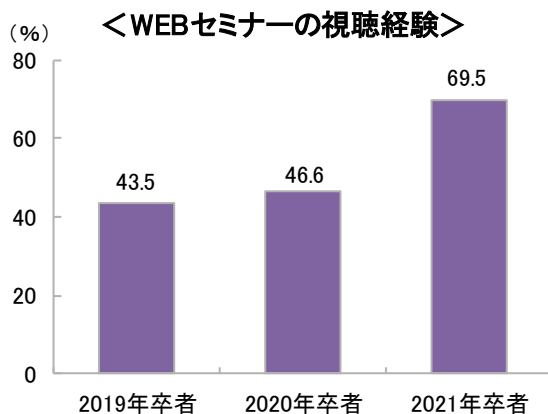
※各年3月調査 *WEBセミナーを除く



※()内は2019年3月調査の数値

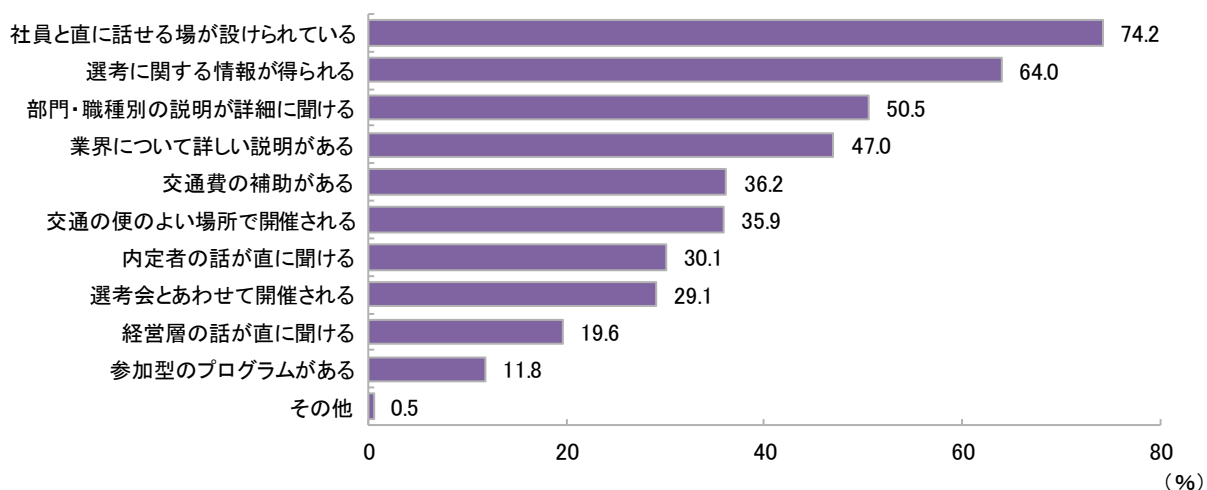


※2020年卒者は9月調査なし



どのような内容の企業セミナーに参加したいかを尋ねたところ、「社員と直に話せる場が設けられている」が最も多く(74.2%)、「選考に関する情報が得られる」(64.0%)が続いた。時間を割いて足を運ぶこと、直に行くことのメリットを感じられる項目が上位に挙がった。新型コロナウイルス流行の影響でWEBセミナーの視聴経験率が増加しているものの、本音の部分では企業や社員の雰囲気を感じることができる企業セミナーへの参加を望んでいる様子が見える。

＜参加したいと思う企業セミナー＞

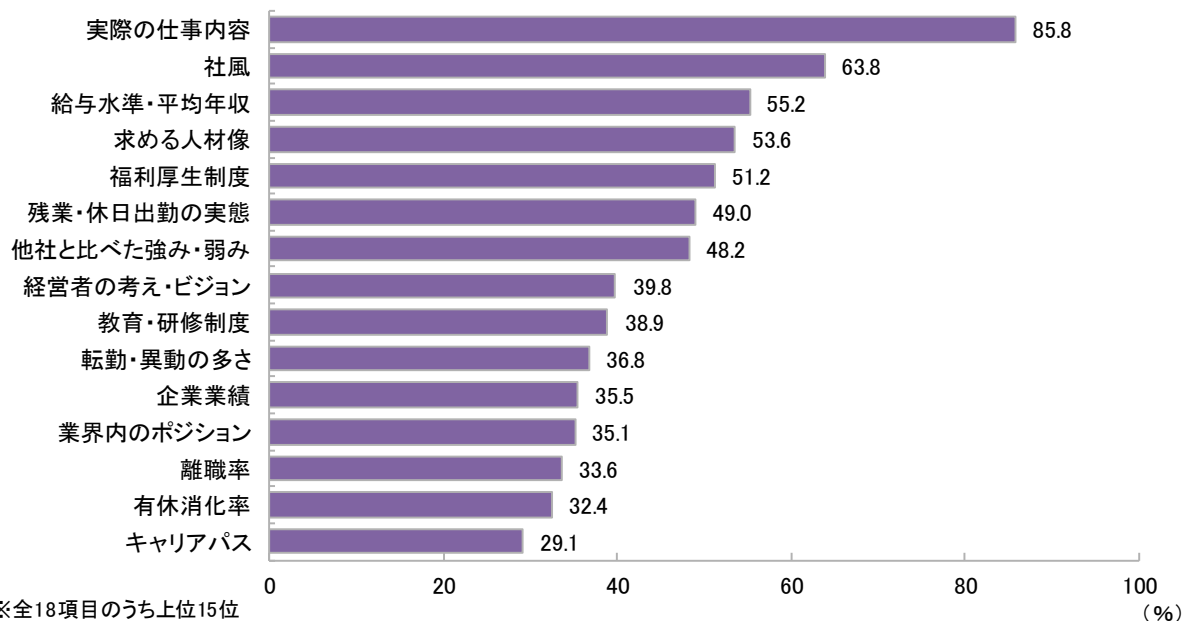


4. 企業研究を行う上で知りたい情報

企業研究を進める上で知りたい情報を尋ねた。最もポイントを集めたのは「実際の仕事内容」(85.8%)で、次いで「社風」(63.8%)が続く。「給与水準・平均年収」「福利厚生制度」「残業・休日出勤の実態」などの条件面に加え、「求める人材像」「他社と比べた強み・弱み」などエントリーシートや面接などを見据えた項目も上位に入る。

学生の企業研究が進めば、ミスマッチ防止も期待できる。手段やチャネルに限られる中でも、企業研究の材料を積極的に開示していくことが望まれる。

＜企業研究を行う上で知りたい情報＞

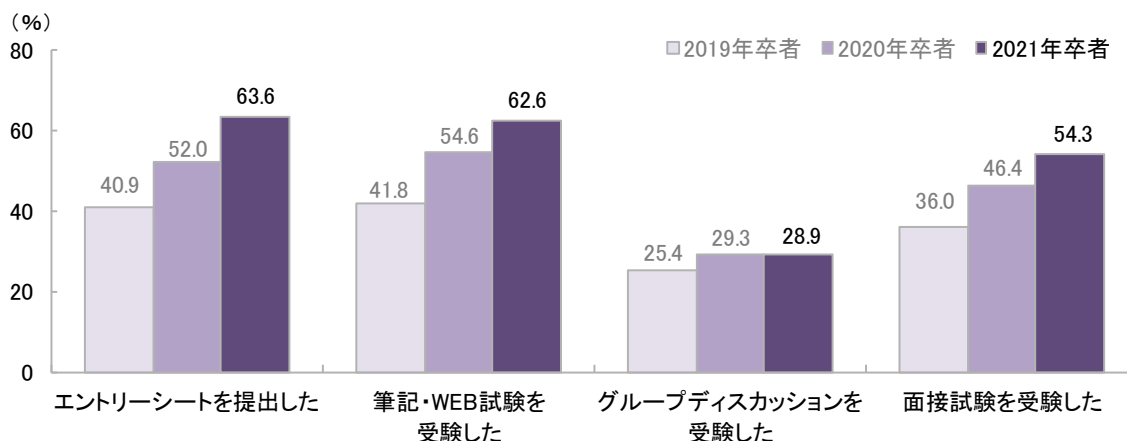


5. 選考試験の受験状況

選考試験(本選考)の受験状況を見てみよう。エントリーシート(ES)を提出した学生は全体の63.6%で、早くも6割が提出経験をもつ。前年同期調査より10ポイント以上増加しており、提出のタイミングは年々早まっている。一人あたりの提出社数についても前年同期を上回る(平均3.9社→4.3社)。

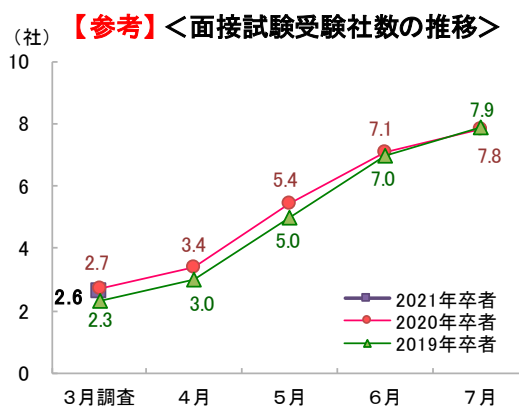
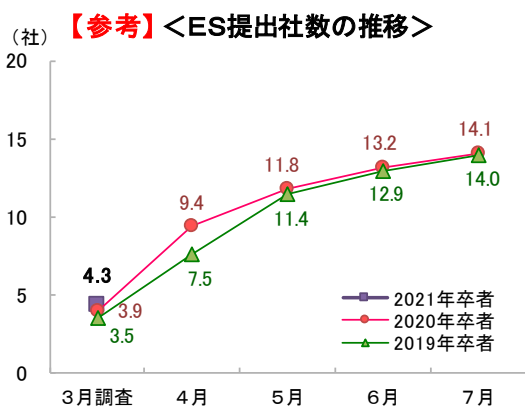
筆記・WEB試験を受験した学生も6割を超え(62.6%)、面接試験受験者が過半数に上るなど、前年同期実績を大幅に上回る経験率だ。早く選考を進めて学生を囲い込みたいという企業側の意識が読み取れる。

<選考試験の受験状況>



<選考試験の受験社数>

	(社)					
	全体	(前年全体)	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
エントリーシート	4.3	3.9	5.1	4.3	3.5	4.0
筆記・WEB試験	3.0	2.9	3.4	2.9	3.0	2.7
グループディスカッション	2.0	2.3	2.0	2.2	1.6	1.7
面接試験	2.6	2.7	3.0	2.6	2.3	2.3



6. 3月1日現在の内定状況

3月1日の就活解禁時点で、すでに内定を手にしてしているという学生は全体の15.9%に上った。前回調査(10.0%、2月調査)からの1カ月間に5.9ポイント上昇し、前年同期実績(13.9%)を2.0ポイント上回る。

内定を得た企業のインターン参加経験有無を調べたところ、内定企業の7割近く(69.3%)がインターンシップに参加した企業だった。この比率は毎年上昇しており、インターンシップが早期選考、さらには早期内定につながるケースが増えていることがわかる。(グラフは次ページに掲載)

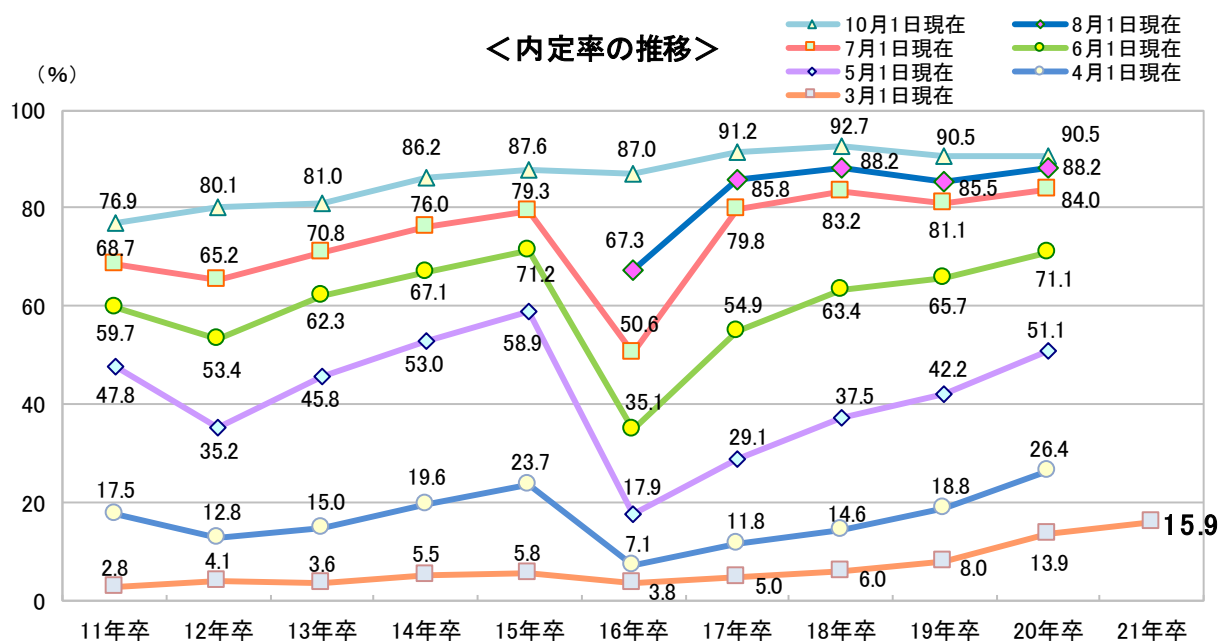
内定企業の業界を尋ねると、志望業界1位の「情報処理・ソフトウェア」が22.1%で最も多く、「調査・コンサルタント」(20.7%)が僅差で2位。3位以下は「建設・住宅・不動産」(13.1%)、「情報・インターネットサービス」(12.2%)、「人材紹介・人材派遣」(7.2%)の順だった。

内定取得学生のうち、就職先を決めて就職活動を終了したのは14.0%で、大半は内定を得ても就職活動を継続していると回答。モニター学生全体を分母にとると、就活終了者(就職先決定)は2%程度。

<3月1日現在の内定状況> *「内定」には、内々定を含む

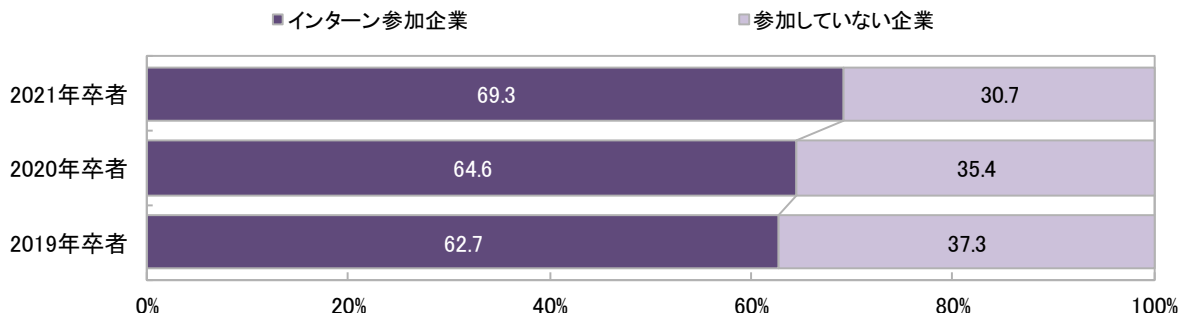
		(%)				
		全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内定あり		15.9 (13.9)	13.2 (12.3)	14.2 (13.6)	18.5 (15.3)	22.0 (16.3)
内定なし		84.1 (86.1)	86.8 (87.7)	85.8 (86.4)	81.5 (84.7)	78.0 (83.7)
内定者のうち	就職先を決定し活動終了	14.0 (10.4)	15.3 (3.6)	15.3 (7.7)	11.6 (17.3)	14.3 (16.7)
	活動は終了したが複数内定保持	2.7 (3.3)	0.0 (3.6)	5.1 (3.8)	0.0 (3.8)	8.6 (0.0)
	進学などの理由で就職活動を中止	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	就職活動継続	83.3 (86.3)	84.7 (92.7)	79.7 (88.5)	88.4 (78.8)	77.1 (83.3)
		(社)				
		全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内定社数/平均		1.4 (1.3)	1.5 (1.4)	1.2 (1.3)	1.3 (1.3)	1.3 (1.3)

※ () 内は前年(3月1日現在)の数値



※15年卒までは選考解禁は4月、16年卒は8月、17~21卒は6月 ※15年卒以前は8月のデータはなし

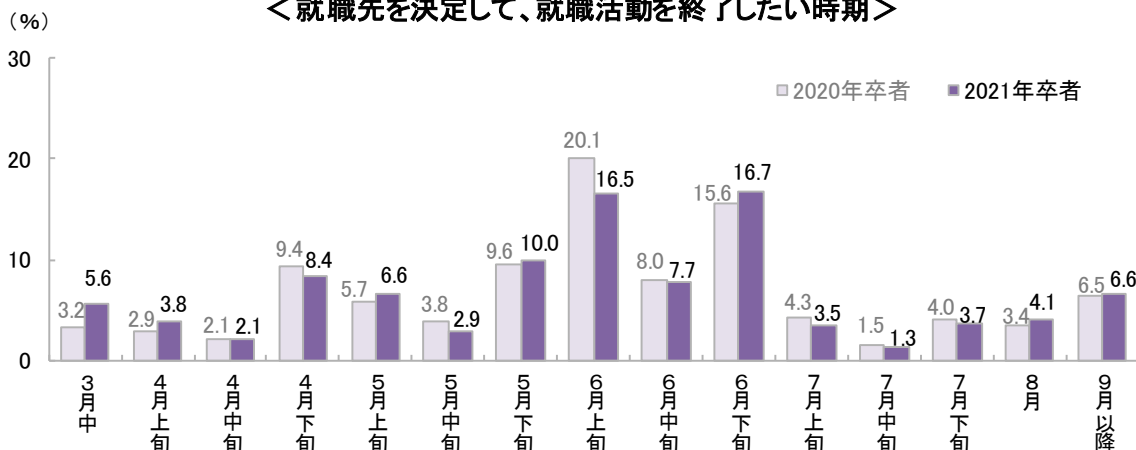
＜内定を得た企業のインターン参加有無＞



7. 就職活動を終了したい時期

就職先を決定して就職活動を終了したいと思う時期を尋ねた。昨年は「6月上旬」が20.1%で最も多かったが、16.5%へとポイントを下げ、今年は「6月下旬」が最多に(16.7%)。新型コロナウイルスの影響で企業の選考日程が繰り下がる可能性を見込んでいるのだろう。一方で、6月の選考解禁を待たずに終了したいと考える学生は増加した(計36.7%→39.4%)。早期から選考を受けており早く終えたい層と、長期戦を覚悟する層とに分かれてきている印象だ。

＜就職先を決定して、就職活動を終了したい時期＞



■就職活動に関して思うこと

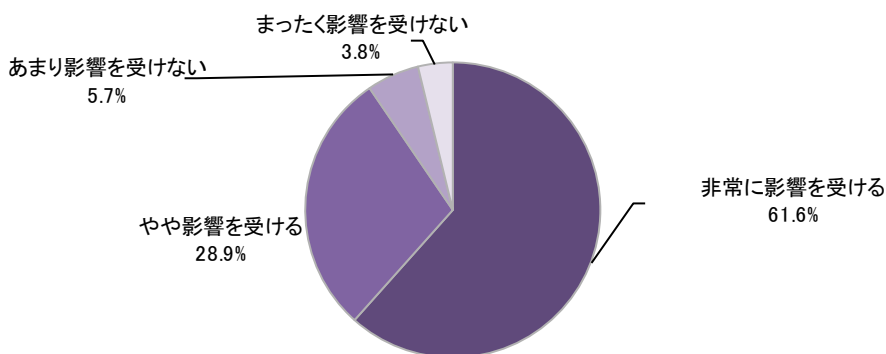
- 今年は経団連ルールの廃止や東京五輪の影響で、選考のスピードが早くなると言われていたため、早い時期から企業研究を進めていた。今後どうなるかはかなり不安だが、日々変わる情報をしっかり収集し、流れに乗り遅れないようにしたい。
＜文系男子＞
- 内定早期化などの記事や情報が溢れていますが、そのような不安を煽るような記事に惑わされず、自分がやるべきことを着実にこなしていきたいと思います。
＜文系女子＞
- 早く終わらせたいという気持ちと、志望する企業に行きたいという気持ちのバランスをとるのが難しいです。
＜理系女子＞
- 学業との両立や、一つの企業に向ける時間的・精神的リソースを増やしたいということもあり、さしあたり出願企業を絞って就活を行っているが、その結果どこにも受かりませんでした、もっとたくさんES出しとけばよかったですね、みたいなパターンが怖い。
＜理系男子＞
- 情報網をどれだけ持つかが大切だと思う。ネット、本などの情報は誰でも持てるので、特に生の人間からの情報は大事だと思う。
＜文系男子＞

8. 新型コロナウイルス流行の影響

新型コロナウイルスの流行によって、自身の就職活動に影響を受けると思うか否かを尋ねた。「非常に影響を受ける」という回答が 6 割を超え (61.6%)、「やや受ける」を合わせると 9 割を超える (計 90.5%)。影響の中身として多いのは、合同企業説明会を含めた説明会の中止・延期に言及する声で、企業を知る機会が減ることへの不安を漏らす学生が目立つ。面接が急遽 WEB 形式に変更になったことへの戸惑いや、今後のスケジュールの見通しが立たないことへの焦りも見られる。

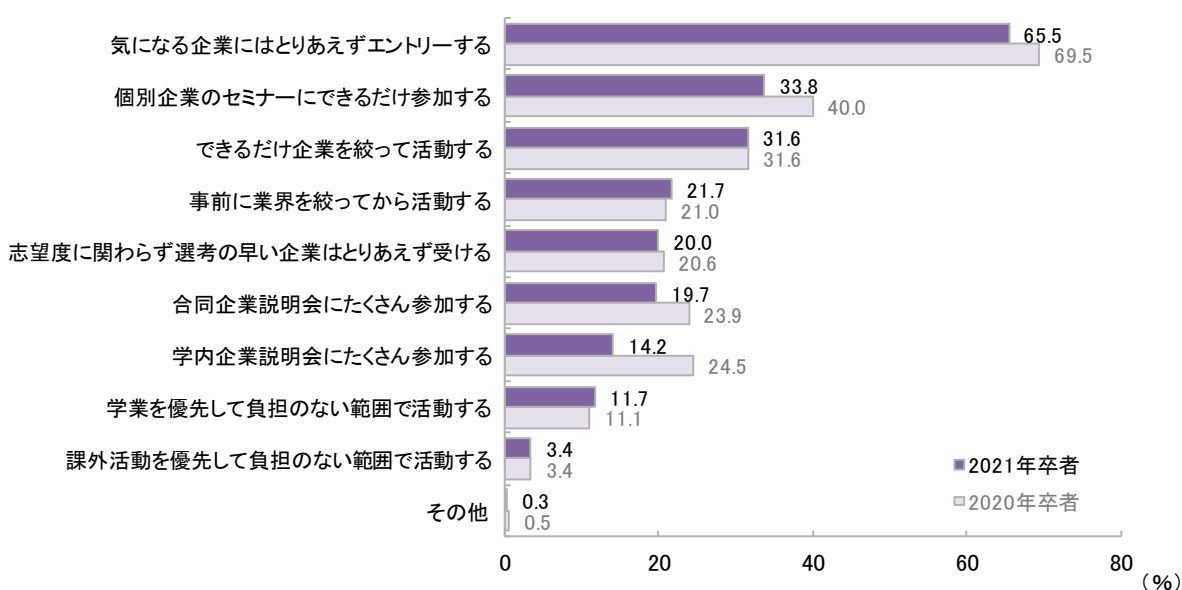
序盤から前年実績を上回る内定率をマークし、順調に見える就職戦線だが、状況次第では就職活動が停滞し、内定率が伸び悩んでくる可能性もある。

<新型コロナウイルス流行による自身の就職活動への影響>



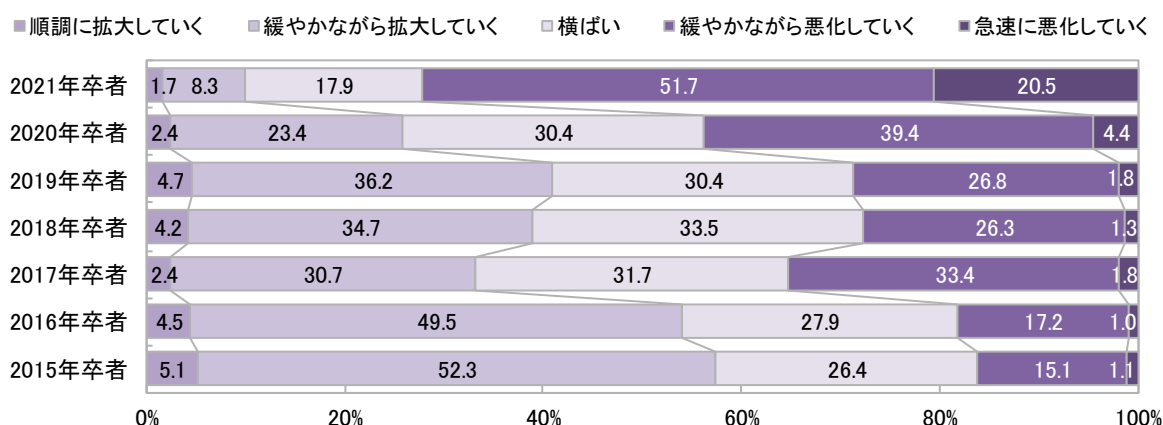
就職活動の方針を尋ねたデータを前年調査と比較すると、説明会の中止・延期の影響が顕著に表れている。最もポイントが減少したのは「学内企業説明会にたくさん参加する」で 10.3 ポイント減。「個別企業のセミナーにできるだけ参加する」「合同企業説明会にたくさん参加する」も、それぞれ 6.2 ポイント、4.2 ポイント減少した。一方「できるだけ企業を絞って活動する」「事前に業界を絞ってから活動する」などに増加傾向は見られず、新たな企業を知る機会として各種説明会の再開を求める学生が少なくないことがうかがえる。

<3月1日時点の就職活動の方針>



最後に、今後の日本の景気予想を尋ねた。「緩やかながら悪化していく」(51.7%)と「急速に悪化していく」(20.5%)を合わせて7割超(72.2%)。経年で見ると、特に「急速に悪化」という回答が大幅に増加していることから、今回の新型コロナウイルスの流行により景気が悪化すると考えている学生が多いことがわかる。それにより、採用数を減らす企業が出るのではと不安視する学生も少なからず見られた。

＜今後の日本の景気予想＞



■新型コロナウイルス流行による就活への影響理由

【非常に影響を受ける／やや影響を受ける】

- 合同企業説明会が次々と中止になり、まだ知らない企業を見つけるチャンスが減ってしまった。 <文系男子>
- 学内企業説明会がなくなったことで、自分の大学の学生を求める中小企業を知る機会が減った。 <理系女子>
- WEB説明会では企業の雰囲気などを直に感じるができず、企業選びにも支障をきたしていると思う。 <文系男子>
- 個別企業の説明会が行われるところでも、規模縮小のため、予約を取るのが難しくなってきた。 <文系男子>
- マスク着用のグループディスカッションがあったが、表情が見えず非常に難しかった。またWEB面接の対策をしてこなかった。 <文系女子>
- 終息する時期が見えないために、就活のスケジュールがわからなくなっている。昨年までの就職活動を参考にしづらい。 <文系女子>
- 選考ステップが減ることで、ES通過のハードルが上がると感じる。 <理系女子>
- 地方在住だが、東京に行く必要がなくなった。お金がかからないのはよいが、WEB面接のイメージができなくて困惑している。良くも悪くも影響は大きいと思う。 <文系男子>
- 感染が怖くて都市圏へ行くことが少し怖くなっているから。 <理系男子>
- 新型コロナウイルスの感染を極力防ぐために、1社内定を得た時点で就活を一旦終了したから。 <文系女子>
- 説明会はなくなってもいいが、経済に与える影響は大きいと思うし、それが採用数などに影響すると本当に困る。 <理系男子>
- 企業側が採用者数を減らし、内定取り消し等も起こりうるのでは。 <文系女子>

【あまり影響を受けない／まったく影響を受けない】

- WEB説明会を行ってくれる企業が多いので、それほど影響は受けないかと思います。 <理系男子>
- 社員に会う機会が少し減ったが、家の中で活動できるので悪くないと感じるから。 <文系女子>
- 興味のある会社説明会などはおおよそ受け終わり、後は面接などを行うだけのため。 <理系男子>
- 早めに動いていたのであまり焦って就活する必要がない。 <文系男子>
- 2月中に第一希望企業から内定をいただいたため。 <理系男子>